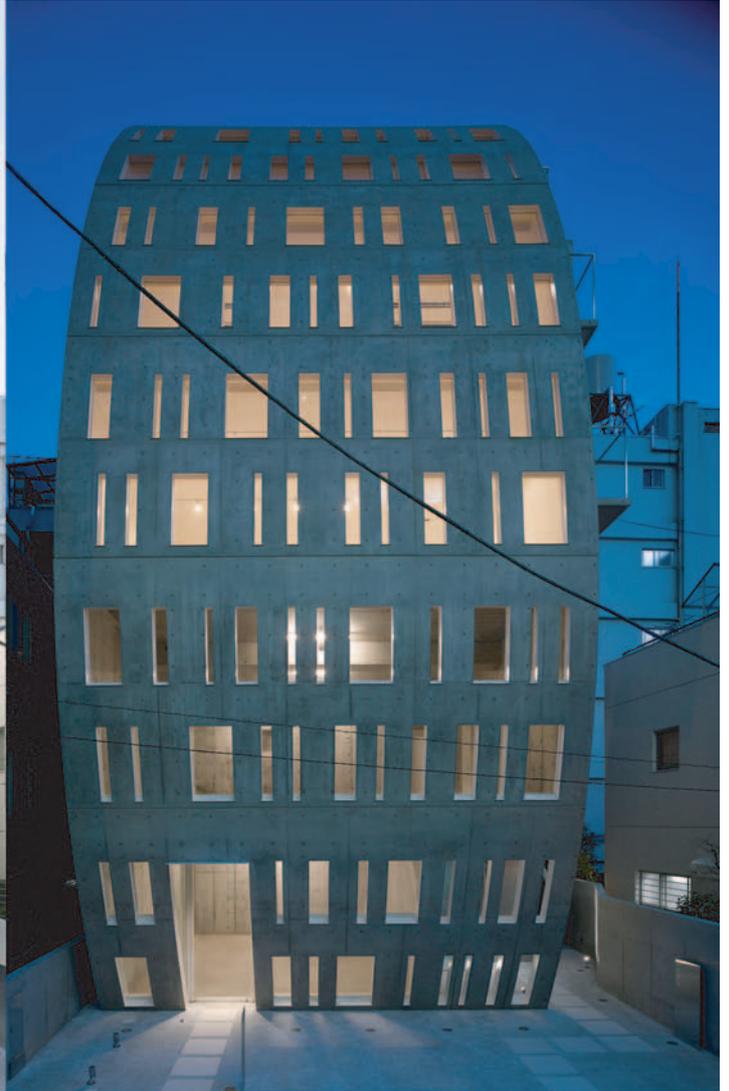


# SHIN CLUB 106

(株)ユニホー辰カンパニー 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



## 今月のトーク/monthly talk

「URBUN PREM MINAMI AOYAMA」 撮影：阿野太一

### 「出会いの瞬間」をデザインする

新年あけまして、おめでとうございます。今年も「Shin Club」をよろしくお願ひします。

年明けにまずご紹介するのは、新進気鋭の女性建築家・永山祐子氏設計の楽しい建物です。青山通りの「エイベックス・ビル」の渋谷寄りの路地裏に、中央部が大きく道路側に張り出した、一見すると船を半分切ったような面白い形のビルが完成しました。打ち放しコンクリートの外壁にいろんなサイズの細長い窓が並び、目の前に立つと「中はどうなっているのか」と不思議な感覚に見舞われます。建物の最上階は、下から見上げてもその稜線がわかりません。設計者は、どのような意図で、この形を作ったのだろうか、と誰しも思うことでしょう。

永山さんは、1975年東京生まれ。「ルイ・ヴィトン京都大丸店」(JCD 商環境設計家協会デザイン賞 2005 奨励賞)や「丘のある家」(イギリスの建築誌『The Architectural Review』の2006 AR Awards Highly commended=45歳以下の若手建築家やデザイナーを対象とした賞)など内外で高い評価を得ています。子供の頃は生物物理学を研究する父上の影響で自然科学に興味を持っていたそうですが、昭和女子大学生生活美学科に入学し、建築学を専攻。卒業後は「青木淳建築計画事務所」(1998-2002)を経て、2002年に永山祐子建築設計を設立。商業施設、一般住宅の設計ならびにインテリアデザイン、舞台デザインなども手がけています。

独立後、最初に設計した表参道の「afloat-f (アフロート)」という美容室では、パラボラアンテナを使ったユニークな照明のデザインが注目されました。また「ルイ・ヴィトン京都大丸店」では、2枚の偏光板ユニットを使って、幻影として現れた黒い縦格子が見る角度によって変化する独特なファサードを作り上げ、高い評価を得ました。いつも建築に新しい感覚を取り入れて見せてくれる永山さんに、「普段の設計の中で心がけていることがありますか」とたずねました、「人に対して何かを投げかけるようなもの、固定したイメージを見せるよりも、その建物に出会ったことで何かが感じられる—そんなものが作ればいいと思います」と答えてくれました。

単に自由なイメージを形にするのではなく、与えられた条件に加えて、綿密な検証に裏付けられた計画がそこにはあります。建物の曲線や開口部のデザインなどは、数多くの模型でスタディを重ねられたということです。

「これまで気づかなかったことを発見してワクワクすることがあるでしょう。そのワクワク感こそが生きている原動力になると思うのです。それを刺激できるものを建築で作っていきたいと思います」という永山さん。

100年に1度といわれる不景気で始まった2009年。こんなときこそ、私たちが建築を通して、街に元気な空間を提供するお手伝いをしていきたいものです。

# URBAN PREM MINAMI AOYAMA (南青山385計画)



## ユニークな形が建物の架空性を想起し、 新たな法規の解決方法も生み出す

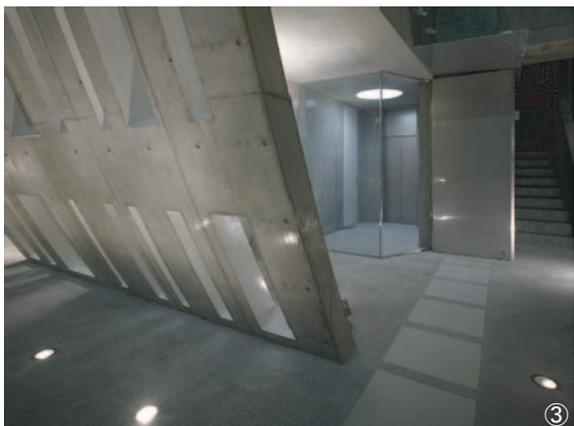
片側4車線の大きなビルが立ち並ぶ青山通りから、1本入ると小さな住宅街が広がっている。この敷地のギャップがまず面白いと思った。急にスケールダウンしてしまう—これが東京らしさである。

今はまだ、小さな建物に囲まれているけれども、すでに近隣では再開発が始まっており、いずれ高層ビルが建つ地域である。建築主から与えられたワンフロア1テナントという条件で最大限のレンタル比を満たすとすると、プランはおのずと決まってしまう。とすると何をデザインするのかというと、やはり建物との最初の出会ひ、つまり大通りから入ってきて、路地裏のこの建物を最初に見つけたときの、スケールのギャップをデザインするしかない。

現実には18mの高さがあるこのビルの大きさを把握できないように、あいまいな架空性のあるファサードを生み出した。中央に張り出した曲線により、下から見上げても建物の周囲が見えない、上の階がどこまでも続いているかわからない。初めて訪れる人は、一瞬不思議な感覚に陥るだろう。

それに加えて、日本では道路斜線という法規があって、前面道路に日照を確保する配慮が求められている。この建物の前面道路はもともと2.6mしかなく、おまけに袋小路のため、暗くさびしいたまりになってしまう。が、建物上部が反り返ったこの形だと、圧迫感がなく、グラデーションで光を落としてくるので、終日明るさを保つことができる。根本に立ち返って、法規的なことをデザインしてみると、理にかなっているという新たな発見があった。

開口部のあけ方もスケールを読む拠り所となるので、各層に2段の窓を入れ、いろいろなサイズにして、各層でその比率も変えている。すぐには階数を把握できないようにして、ビル全体で大きなパターンになるように配置している。逆に建物内部からの景色は、大通りに面した建物の裏手になるため、期待できない。むしろ外側の景色が、不規則な窓を通して細切れの光のパターンとして分解されて入ってくることで、再構成された景色が楽しめるのではないかと、思っている。  
(永山祐子氏談)



①全景②1階物販店舗入口と前庭③1階坪庭とエントランスホール④前面道路から見上げる⑤4階事務所⑥5階事務所トイレ

撮影：表紙②③④阿野太一  
①⑤⑥アック東京 ⑦編集部

構造：RC造  
規模：地上5階  
用途：店舗・事務所  
設計：永山祐子 / 永山祐子建築設計  
弊社施工担当：夏井、佐々木、池上  
竣工：2008年12月



永山祐子氏

荻窪の事務所にて、たくさんの模型と記念撮影をさせていただきました。「よく映像世代と言われます。様々なシーンをイメージし、そのシーンにおける体験を補完するために建築物を形作っていきます。

映像は、空間や時間に縛られずに自分のイメージだけで構築していくでしょう。自由でいいという感覚が、自分の建築の中に生かしていけるのではないかと感じることはあります。建築には時間や空間の制約がありますが、制約は実体験として感じられ、それは建築の良さでもあるので、肯定していきたいと考えています。建築を見る人の、いつもは眠っている感情を呼び起こすことで、生きることに影響することができたらと思います」と豊かな感性を言葉の端々に感じさせてくれる方でした。

今月は、「新春企画」として、いつも私たちが建築を始めるにあたり行う地鎮祭について、取り上げます。おかげさまで、弊社では昨年末、例年になくたくさんの地鎮祭を行う機会を得ることができました。

地鎮祭は基本的に建て主様が中心となって執り行なう行事ですが、最近では一般の方にはそのような儀式に馴染みのない方も多く、基本的には建設会社の手配を承ります。神道だけでなく、仏教でも行うことがあります。地方によって行事作法が多少異なることがありますが、ほとんど同じ内容ですので、今回は弊社の現場の多い神宮前の青山熊野神社の椎名道子宮司様、またご長男で同神社の禰宜を務められる椎名勇夫様にお話を伺いました。最近では全国的にも女性の宮司様が増えているそうです。



青山熊野神社 椎名道子宮司

地鎮祭は、建物の新築や、土木工事の起工にあたり、その土地の神様を祀（まつ）り、工事の無事進行、完了と建物末永く安全で堅固であることを祈願するために行われます。一般には「じまつり」などとも呼ばれ、国土の神大地主神（おおことぬしのかみ）とその地域の神様である産土神（うぶすなのかみ）、またその土地の神々である「此の地を宇志波伎坐（うしはきます）大神等」をお祀りします。

儀式には、大きく3つの意味があります。1つ目が「祓い（はらい）」の行事で、敷地を大麻で払ったり、切幣（きりぬさ）を撒いて祓い清めます。2つ目は起工の行事で、関係者が工事の所作を行うことで、神様に工事の開始を奉告します。3つ目は供物の行事であり、神霊に供え物をして工事の無事安全を祈念します。日本は生活圏内の地域の氏神様始め、八百万の神がいたるところに鎮まっているといわれ、それは自然との調和を大切に育んできたことによりです。よりよい自然環境を次世代に継承させるという観点からも、こうした神道の考え方はさらに重要になってくるのではないのでしょうか。



青山熊野神社

## 1 地鎮祭の準備 (写真①)

土地の中央に齊竹（いみだけ）という葉付きの青竹を四方に立て、さらに注連縄（しめなわ）を張り巡らせ、清浄な神域を作ります。さらに八脚台という木の台を並べ、榊（さかき）に麻と紙垂（しで）を付けた神籬（ひもろぎ）を立てます。この祭壇に、酒、水、米、塩、野菜、魚などの供え物を供えます。

参加者は、入場前にお清めをします。(写真②)



## 2 地鎮祭の流れ

### ①修祓（しゅばつ）

祭りに先立ち、参列者・お供えものを祓い清めます。



### ②降神（こうしん）

祭壇に立てた神籬（ひもろぎ）に、神様をお迎えする儀式。神職が「オーオー」と声を発して、降臨を告げます。



### ③献饌（けんせん）

神様に祭壇にお供えした神饌（しんせん）を食べていただく儀式。酒と水の蓋を取ります。



### ④祝詞奏上（のりとそうじょう）(写真③)

神職がその土地に建物を建てることを告げ、工事の安全を祈ります。

### ⑤四方祓い（しほうはらい）(写真④)

土地の四隅をお祓いし、切幣（きりぬさ）を撒き、清めます。



### ⑥鍬入れ（くわいれ）

忌鎌（いみかま）…設計者が砂を盛った山の草に鎌（かま）を入れます。(写真⑤)

忌鍬（いみくわ）…建て主が鍬（くわ）を入れます。(写真⑥)

忌鋤（いみすき）…施工者（建設会社）が鋤（すき）を入れます。(写真⑦)



※本来、鋤入れはなかった。また関東では、刈初

(かりぞめ) = 忌鎌を建て主が、穿初（うがちぞめ） = 忌鍬を施工者が行き、この2つで鍬入れとする場合も多い。

### ⑦鎮め物埋納

土地の神霊を和め鎮めるためのお供え物を「鎮め物（しずめもの）」として埋納します。※鎮め物は、鉄板でつくられた人形（ひとがた）や、刀、盾、矛、鏡、また石やガラスの玉、五色の幣串、神籬として用いた榊の芯などがあてられ、その土地に埋納された。現在では祭典の後、施工者が基礎工事のための杭を掘ったときに建物の中央の杭に納めるのが一般的。

### ⑧玉串奉奠（たまぐしほうてん）

神職に続いて、参加者が神前に玉串を奉り、拝礼します。(写真⑧⑨)

### ⑨撤饌（てっせん）

酒と水の蓋を閉じ、お供え物を下げます。(写真⑩)

### ⑩昇神（しょうしん）

神籬に降りていた神様をもとの御座所にお送りする儀式です。

## 4 直会（なおらい）

地鎮祭の式次第が終了したら、直会（なおらい）を行います。お神酒（みき）で乾杯し、お供え物のお下がりを食します。(写真⑪)

上記の地鎮祭の式次第のほか、井戸について椎名宮司様からお話がありました。

「昔ほどの家にも必ず井戸がありました。地鎮祭を行うときに『古井戸が出てきたのでいつでもお祓いを』と言われることがありますが、生命の源である水の湧く井戸を埋めることはまったく別のことです。別に新たなお祓いが必要です(写真⑫)」とのこと。

大都市東京の元の地形、水との関係を改めて考えさせられました。

※その地域を担当する神社は、各都道府県の神社庁に問い合わせると教えてくれます。 <http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/jichinsai/index.html>

※参考文献『神道いろは - 神社とまつりの基礎知識』（神社本庁教学研究所監修）興味のある方はご一読ください。

## 「玉川3丁目計画 新築工事」 地鎮祭 12月4日



おしゃれな町、二子玉川の高島屋裏にできるビルです。

構造:RC造  
規模:地下1階 地上3階  
用途:スタジオ、物品販売業を営む店舗、事務所  
設計:佐藤成一建築設計事務所  
完成予定:2009年8月

## 「神宮前 H邸 新築工事」 地鎮祭 12月6日



オーナーが生まれ育った地に建てられる、開口部の多い自宅と賃貸住宅です。

構造:RC造  
規模:地下1階 地上3階  
用途:共同住宅  
設計:K2YT  
小池啓介・山本匠一郎  
完成予定:2009年9月

## 「西片の住宅 新築工事」 地鎮祭 12月8日



歴史豊かな本郷菊坂下に建つ、メゾネット1室を含む賃貸住宅。

構造:RC造  
規模:地上5階  
用途:共同住宅  
設計:建築舎四季株式会社  
完成予定:2009年7月

## 「エビスフラット 新築工事」 地鎮祭 12月10日



ガーデンプレイスへの動く歩道を途中で下りた住宅街に、二丁掛タイルのおしゃれな賃貸マンションが姿を見せます。

構造:RC造  
規模:地上3階  
用途:共同住宅  
設計:石川倬/石川設計工房  
完成予定:2009年7月

## 「三軒茶屋アパートメント 新築工事」 地鎮祭 12月12日



閑静な住宅街に建つオーナー邸と賃貸住宅。オーナーのご子息の設計です。

構造:RC造  
規模:地上3階  
用途:共同住宅  
設計:中村一雄  
/ セレスデアソシエイツ  
完成予定:2009年6月

## 「下目黒の森テラス 新築工事」 地鎮祭 12月14日



1200年の歴史を持つ目黒不動尊の横に建つ、12世帯のコーポラティブハウスです。

構造:RC造  
規模:地下1階 地上3階  
用途:長屋  
設計:室伏次郎  
/ スタジオアルテック  
完成予定:2009年11月

## 「Momiya Bldg. project 新築工事」 地鎮祭 12月22日



表参道ヒルズから少し入った住宅街に、独特の屋根の形状を持つ店舗ビルが出現します。

構造:S造  
規模:地下1階 地上2階  
用途:店舗  
設計:團紀彦  
/ 團紀彦建築設計事務所  
完成予定:2009年8月

## 「A邸 新築工事」 上棟式 12月10日



田園調布駅から徒歩1分の閑静な住宅街の一角です。

構造:RC造  
規模:地下1階 地上2階  
用途:学習塾併用住宅  
設計:鈴木基紀  
/ 空間設計社  
完成予定:2009年3月

## 「新入社員がはいました」



竹原栄吉 です。  
施工管理業務を行います。  
よろしくお願いします。

## 「ホームページ更新しました」 12月31日



<http://www.esna.co.jp/index/php>  
トップ画面に、ショートギャラリーも用意しました。どうぞご覧ください。

## 編集後記

- 100年に1度の不況だといわれておりますが、そんなときこそ、よい仕事をしていきたいものです。
- 地鎮祭の取材を通して、その土地の過去の履歴を知ることが将来に向けて大事なことだと考えさせられました。